

第60号

http://www.nisshiren.com/

あ〜す・れっく

日資連界報

日本再生資源事業協同組合連合会
 〒101-0061 千代田区三崎町2-21-1
 Ⅱ 03 (3263) 9101
 発行人 飯田俊夫
 編集人 守屋 司
 印刷 株式会社資源新報社



第42回通常総会にて、会長職を拝命いたしました飯田俊夫でございます。6月15日開催の千葉県大会には多くの会員の皆様にご出席いただき、開催県を代表いたしました。あらためて御礼申し上げます。私は日資連の舵取りを司る重責をお受けした以上、皆様との対話を



|| ご挨拶 ||

対話重視し諸課題に取り組む

会長 飯田 俊夫

1、市民・行政との連携強化

私たちが扱う資源物は、循環型社会形成推進基本法という大きな枠組みと、一般廃棄物を管轄する各市町村行政、そして何より資源物の排出者である一般市民との連携が重要となっております。会員組合の皆様が地元にて関係強化に努めておられるように、日資連と致しまして

2、価格の安定

私たちが扱う資源物は永年、価格の乱高下に悩まされてきました。デモ行進など記憶されている方も多くことと思いが、価格の安定は業界の安定にも繋がります。社会の一員として、私たち

3、日資連財政の健全化

私は前日まで会計理事として日資連運営に携わってきました。日資連財政の健全化は喫緊の課題であり、避けては通れない問題です。その為にも会員の皆様と日資連の間に齟齬がないよう、出来る限り

4、社会的地位の向上

業界が安定、発展していくためには、地域社会において必要とされる存在になっていかなくてはなりません。その為には、限られた戦力の中で、戦っていき、為の強力な武器が必要となります。その為にも、リ化証の使用拡大を図っていき、同時に、地域社会が信のおける業界であり続けるため、持去り問題の解決に全力で取り組ん

5、後継者育成

私は地元である千葉県において、青年部員として組合活動に入っていました。日資連においても青年部活動に参加させていただき、多くの先輩たちに導かれ、多くの同志を得て、自らを律していき、自分が出来たところから育っていき、次の世代を育てていく責務が私たちにあります。昨今では、青年部活動に無関心な若い世代が見受けられます。組合など必要ないといった意見があることも承知し

6、リサイクル循環型社会の構築

循環型社会形成推進基本法が整備されたことにより、それまで個別に対応されてきた廃棄物を巡る諸問題が「環境負荷の少ない社会の構築」という基本的な枠組みが出来ました。私たちがこれまで行ってきた生業は、まさにこの一点に集約されております。私はこれまでに掲げた目標を、皆様とともに達成させていくことに全力

最後に

最後になりましたが、会員の皆様におかれましては、業界の輝かしい未来を信じて、諸問題に真正面から立ち向かうその力を、日資連にお力添えください。我々の業界が未来に向かって前進できるかどうかは、我々業界人自身の団結と行動に掛っております。

飯田新会長を選出

第42回総会・千葉大会を開催

日資連では去る6月15日(日)、千葉市中央区「京成ホテルミラマーレ」で第42回通常総会を開催した。前年度の事業報告・決算報告と併せ、新年度の事業・活動計画を審議、決定した。日資連では現在、懸案事項である全国組織化への取組みとして、「制覇47特別委員会」を中心に、47都道府県からの加盟獲得に向け、正会員未加盟地区への加入促進策を展開している。現在、未加盟は滋賀・和歌山・山口・長崎・大分の5県で、地域の事業者業界団体への誘致活動を継続して行っている。

日資連では去る6月15日(日)、千葉市中央区「京成ホテルミラマーレ」で第42回通常総会を開催した。前年度の事業報告・決算報告と併せ、新年度の事業・活動計画を審議、決定した。日資連では現在、懸案事項である全国組織化への取組みとして、「制覇47特別委員会」を中心に、47都道府県からの加盟獲得に向け、正会員未加盟地区への加入促進策を展開している。現在、未加盟は滋賀・和歌山・山口・長崎・大分の5県で、地域の事業者業界団体への誘致活動を継続して行っている。

日資連では去る6月15日(日)、千葉市中央区「京成ホテルミラマーレ」で第42回通常総会を開催した。前年度の事業報告・決算報告と併せ、新年度の事業・活動計画を審議、決定した。日資連では現在、懸案事項である全国組織化への取組みとして、「制覇47特別委員会」を中心に、47都道府県からの加盟獲得に向け、正会員未加盟地区への加入促進策を展開している。現在、未加盟は滋賀・和歌山・山口・長崎・大分の5県で、地域の事業者業界団体への誘致活動を継続して行っている。

日資連では去る6月15日(日)、千葉市中央区「京成ホテルミラマーレ」で第42回通常総会を開催した。前年度の事業報告・決算報告と併せ、新年度の事業・活動計画を審議、決定した。日資連では現在、懸案事項である全国組織化への取組みとして、「制覇47特別委員会」を中心に、47都道府県からの加盟獲得に向け、正会員未加盟地区への加入促進策を展開している。現在、未加盟は滋賀・和歌山・山口・長崎・大分の5県で、地域の事業者業界団体への誘致活動を継続して行っている。

日資連では去る6月15日(日)、千葉市中央区「京成ホテルミラマーレ」で第42回通常総会を開催した。前年度の事業報告・決算報告と併せ、新年度の事業・活動計画を審議、決定した。日資連では現在、懸案事項である全国組織化への取組みとして、「制覇47特別委員会」を中心に、47都道府県からの加盟獲得に向け、正会員未加盟地区への加入促進策を展開している。現在、未加盟は滋賀・和歌山・山口・長崎・大分の5県で、地域の事業者業界団体への誘致活動を継続して行っている。

大会宣言

21世紀は環境の世紀と言われている。世界を見渡すと未だ紛争や内戦から抜け出すことも出来ず、世界人口は70億人を突破し、水や食料の不足だけでなく、エネルギー分野における資源争奪戦は我が国も他人ごとではありません。

環境は人類が生存していくための基盤であります。我々はこれまで資源リサイクルのプロを自認し、各都道府県で組織化された仲間たちはそれぞれの地域に根ざした活動を地道に継続し、環境を大切にするという一点において資源物の収集、加工を通じて社会の中で環境配慮に関する考え方が浸透していくことを目指してきました。

環境問題がマスコミに毎日のように取り上げられる現在だからこそ、リサイクル化証明書の更なる普及によるコンプライアンスの強化と持去り対策を始めとする活動の推進による社会的責任の強化を図っていくことこそが肝要と考えます。今こそ日本再生資源事業協同組合連合会はこれまでに培ってきた能力と経験を最大限に活かし、経済産業省認可団体としての矜持を胸に、我が国より良い環境の形成に向けて、リーダーシップを発揮しうる存在になるよう自らを鼓舞していくことを誓い、大会宣言とします。

記念講演では参議院議員の石井準一先生から「人生100年社会の到来」と題したご講演をいただき、先生の人生論、政治哲学など拝聴することができた。懇親会では千葉県議会

議員阿部紘一様、全国中小企業団体中央会副会長坂戸誠一様、日本自動車リサイクル協会会長小野順一様、公益社団法人東京都リサイクル事業協会会長上田雄健様からご祝辞を頂き、千葉の幸を堪

能しながら久しぶりに顔を合わせると全国の同志と交友を深めようという声がかここで聞かれた。大盛況のうちに中締めとなり、来年の大会での再会を約しつつ、定刻に散会となった。

古紙の安定調達目指す

副会長 東龍夫



これもまた、少子高齢化で人口減少が進む今の社会の一断面と言わざるを得ない現象ですが、このまま進むと相当の回収コストアップにつながる厳しい問題です。

わたしの所属する札幌市の組合は、集団資源回収を主に取り組む組合員で構成されています。先日の理事会でこんなことが話題になりました。「うちで回収している町内会の役員さんから、『町内会の会員に高齢で夫婦ともに足の悪い人がいる。これまで役員が手助けして資源回収日に

この先は、情報のIT化に伴ってさらに急速に減

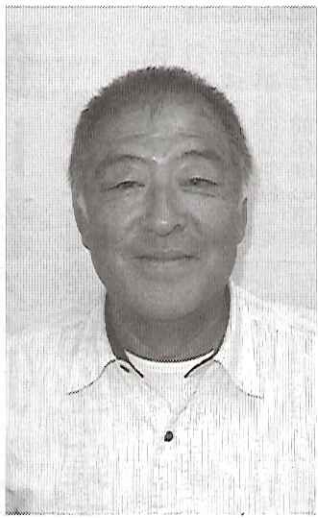
る懸念があります。古新聞に限らず、「回収するものが減る」状況にわれわれは直面しています。そんな状況の中で、今後われわれの業界はどう進むべきか？ 青年部の諸君を前にして真剣に考えざるを得ません。

者としては、自らの会社の存続を願って日々努力しています。その努力は、競争を勝ち抜くことに注がれます。

に勝ち抜く保障は何もありません。減り続ける再生資源を奪い合うことに我々の未来はあるのでしょうか？

開かれた『日資連』に

副会長 星本 昭次



第42回日資連総会および全国大会が参加人数1

90名を超える参加者を集め、千葉県千葉市に於いて盛大に開催する事が出来ました。

今回の第42回通常総会は任期満了に伴う役員改選の年にあたるため、新理事の選出の後、ただちに第1回理事会が開催され、会長に千葉県連の飯田俊夫氏が選出され、併せて新役員が選出されて

現在私達再生資源業界を取り巻く環境は非常に厳しいものがあり、地方行政との連携により進めてきた組合による委託事業や資源物の購買事業が、異業者を含む一般競争入札の導入により一夜にしてその業務を失うケースが見られるなど、地方の組合だけでは解決出来ない問題も山積みしています。

最後に、第43回日資連全国大会は日資連悲願の北海道は札幌にて開催が決定されており、次回には札幌であいましょう。

日資連会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。今回は、副会長に就任（近畿地区長）いたしました、奈良県資源回収事業協同組合の山原と申します。

この度、会長、飯田氏のお手伝いの副会長という職に感謝を申し上げ、日資連の皆様のため頑張っていく所存でございます。今は、古紙の持ち去り対策のためGPSや自治パトロールなど、さまざまな対応をしなければならぬ時代になってきており、鉄スクラップも小型



全国組織化に努力し

副会長 山原 丈之

家電法も施行され資源回収の業自体やりにくい時代になっております。日資連が組織一丸となつて頑張っていかなければならないと思う次第でございます。

そして、制覇47特別委員長に再度選任され、今年度より京都府再生資源化事業協同組合の中島専務にお手伝いをさせていただいて、より一層頑張りたいと思っておりますので、空白県の近隣県の皆様の情報も宜しくお願い申し上げます。

日資連事業に貢献

副会長 高橋 文一



先般の第42回通常総会にて、東北六県再生資源組合連合会の会長の立場として、副会長の職を拝命したものと認識してお

ります。前副会長就任時には、紺野元会長のもつとで経済産業省の本省認可移行のお手伝いをさせていただきますと記憶して

一昨年は、被災地支援を兼ねて仙台での全国大会開催のご配慮をいただきましたこと、東日本大震災義援金にもご協力をいただいたいております。東北を代表して御

飯田新会長のものと、新しい役員体制での日資連の活動がスタートいたしました。私の任期は一年に限られますので、可能な限り活動のお手伝いができるよう努めますので、会員各位のご支援とご協力をお願い申し上げます。

90名を超える参加者を集め、千葉県千葉市に於いて盛大に開催する事が出来ました。これもひとえに、参加いただきました組合員の皆様と大会の企画から懇親会、参加者の宿泊に至るまで心遣い頂いた千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会の皆様ならびに、青年部である千和会の皆様のお蔭によるものと、心よりお礼申し上げます。

更に、日資連に於いても組織の充実と財務体質の強化が急務であり、日資連青年部時代から培ってきた地方とのパイプを持つ飯田新会長には大きな期待を寄せる所です。それとともに、開かれた日資連構築のために、役員一同飯田



全国大会千葉大会で表彰を受けた皆さん

段ボールのリサイクルは次世代の環境作り!!

循環型社会に最適な包装資材として今後ともリサイクルの推進・向上に努めます。

段ボールリサイクル協議会

リサイクルマークの普及促進中!!

資料問合わせは事務局へ
詳細については段ボールリサイクル協議会のホームページ
(<http://www.danrikyo.jp>)で閲覧できます

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館
(全国段ボール工業組合連合会内)
TEL03-3248-4853 FAX03-5550-2101

活動の方向性明確に

専務理事 組織運営強化委員長 片岡 繁



確にした上で、なおかつ方向性を一致させなければ日資連は迷走してしまいます。ベクトル(力)は方向が一致してこそ加算されるのですから。幸いにも各委員会の委員長の方々は私も含め、長期の交流があり、うまくやっているとと思っています。

そしてもう一つの役員は事務局の担当と考えています。日資連は今までは事務局に対しての責任者がはつきりしていなかった様に思われます。勿論、最高責任者は全てにおいて会長であります。一部所としての本来の責任者には専務理事があたり、これが適当ではないでしょうか。ましてや今年より一人体制となる事務局にて、財務委員長の任命

活動の効率化めざし

財務委員長 佐藤 秀夫



を受けさせて頂くと共に、重責を改めて感じています。

日資連に於いて、今期より財務委員会の復活を行うについては、現在、日資連が抱えている財務の健全化が重要事項に取り上げられている事の実情を、財務委員長の任命

活動の効率化めざし

調査研究委員長 福田 寛栄



この度、日資連調査研究委員長を拝命いたしました福田寛栄と申します。

に於いては、大切な財産となつていきます。しかし、この財産を持ちながらも、財政面については、非常に困窮している事も現実であり、有志に対しての協賛金の要請により成り立っている状況です。

日資連は全国組織であり加盟組合(所属員)全員の公平な賦課金で運営されるのが必要であり当然の事と考えています。今後、国への窓口となる日資連の重要性を鑑みて、

緊密な情報提供に努め

広報委員長 守屋 司



改めまして、皆様のご理解、ご協力をお願いする次第です。

改めまして、皆様のご理解、ご協力をお願いする次第です。

会費の平等化が課題

会計理事 武田 誠一郎



兼ねて遂行してきた役割でありますので、しっかりとミスのないよう財務委員長と共にまっとうして行こうと考えています。

ご存知のように日資連の財政は、決していいとは言えない状況が顕著に表れています。これから最初にやらねばならない事は、会費の平等化だと思います。

活動の効率化めざし

プロジェクトリーダー 森岡 伸志



「N」は認定制度を形にしただけで、その他に挙げた目標は達成できないまま経済産業省の本省認可と共に活動を停止しています。そのため近年、起こるべくして諸問題が顕在化して来りました。このような状況下に新会長の下、日資連の運営に関わる事は大変な責任を感じています。折に触れ言

まず、「L」は単独ではなく「認定」「SK」「広報」等、他の部門とリンクして活動を効率化しようと思っています。

内容については私案として次に挙げる事の中から手をつけて行くべきと考えております。

認定制度、リ化証の確立を目指し、まず、日資連での位置づけ確認と確

本年6月25日に「速報あす・れっく」No.1を配信いたしました。好評をいただきました。No.2、No.3と継続して配信することが出来ました。インターネットを通じた情報伝達につきましては、日資連ホームページよりダウンロードして頂けました。今回はメール配信という形で直接お届けしました。

メールを使った情報提供は、環境が整っていないという理由で躊躇するところでしたが、もはや

情報提供用のテンプレートは日資連で用意します。広報委員以外の方からの情報提供を歓迎いたします。写真と簡単なW1日があれば十分です。

最後に自己紹介を。私は広報委員長に任命されました。守屋です。神奈川県資源回収商業(協)で専務理事を務めています。地元は横須賀市です。横須賀市資源回収(協)に所属し、横須賀市内と葉山町内の資源回収そのほか、事業協同組合の業務をしております。

《資料を探しています》

以下の資料をお持ちの方がおられましたら、事務局に寄贈していただければ幸いです。

探しているのは日資連総会資料(第1回~10回)、あすれっく(第1号~10号)です。宜しくお願いします。

会員に役立つ企画を

業務委員長 高野 昌明



皆様、6月15日の第42回日資連通常総会・千葉大会に多数ご出席くださいまして、ありがとうございます。第42回通常総会で2期目の業務委員長を仰せつかりました千

葉県の高野昌明です。千葉県の飯田俊夫会長が日資連新会長に就任され、より責任ある立場となりとても緊張しております。思い起こしますと2年前に務められた吉浦副会長のおと業務委員長を引き継ぎ、何をしたら良いか分からずだ、会議には積極的に出席し各業界の皆様の名前と顔を覚えることや、会議の内容を把握するのが

精いっぱいでした。一昨年、昨年と業務委員長として、関連業界の製紙連会・古紙センター・全原連・関東商組・東リ協会・段ボール協議会の会議に参加してまいりました。普段話の出来ない方々と情報交換ができてと勉強になっております。今年度の目標は、業界関連業界の主催する会議に参加させて頂くだけでなく、制度の見直しが予定

されています「容器包装リサイクル法」や平成25年4月から施行された「小型家電リサイクル法」について、経済産業省の方をお招きした講習会や各部会の講習会と組織強化をしたいと考えております。

また、数十年からの課題である、古紙持ち去り問題についても各業界関係者や警察・各市町村警察や行政・地域の方たちと協力をお願いしながら撲滅に向け邁進していきたいと思っております。昨年度、不十分だった部分を飯田会長はじめ、本部役員、各委員会・業務委員会の4部会(鉄部会・古紙部会・回収部会・びんカレット部会)の部長の皆さんと協力し、

支えていただきながら務めていきたいと思っております。このいくつかの講習会を企画し、成功させることが大きな仕事となると思っております。全国の会員の皆様にも色々とご意見をいただき、一致団結し、より良い方向に進めていきたいと思っております。

全国の皆様のお力を貸していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

実効性ある制度に

認定制度審査委員会事務局長 大島 三千三



日資連再生資源回収事業認定制度審査委員会事務局長の大島三千三です。地元、栃木県リサイクル協同組合連合会では、専務理事としております。当該認定制度は、平成17年の日資連全国大会福井大会において発足し、同年9月1日に第1号の認定者が誕生しました。それから全国で972の事業者の認定を行ってきました。

また、リサイクル化証明書は、他業界に先駆け平成11年11月から運用を開始し認定制度の発足とともに信頼性を高めてきました。審査委員会事務局は、認定制度の規約に則り確実に制度を運用していくことが業務であります。そのため、時には、一次審査代行組合や申請者に対して細かい注文を付けることもあるかもしれません。認定制度の社会的信頼性の維持のためご協力をお願い申し上げます。また、リサイクル化証明書につきましても、組合から認定事業者へ販売した際の販売報告書の日資連への報

告、リサイクル化証明書使用時のK票の返却と管理につきましては、確実に行っていただきます。役職上堅苦しい内容となつてしまいましたが、経済産業省や環境省に胸を張ってアピールできる認定制度とリサイクル化証明書であります。会員一丸となつて守り推進していきたいと思っております。本制度は日資連会員のための制度であり不備な点は改善していきたいと考えておりますので、要望やご提案がございましたら簡単なお事でも結構です日資連事務局までお寄せください。検討させていただきます。

日資連青年部第9代青年部長を拝命することになった東資協の紺野です。はなはだ微力ではございますが、各地の青年部長、日資連青年部役員の皆様のお力添えの元、一所懸命命を懸けてまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、一口に日資連青年部と言っても、業態も主要取扱品目も様々です。が、我々は皆リサイクルの現場最前線で活躍している同志であり、仲間であり、仲間です。そんな同世代の仲間の悩み、問題点を共有し解決したり、新たな取り組み、新規事業、

新規取扱品目など有用な情報を交換することで、お互いを高めあうことが出来るのが日資連青年部であると考えています。そして、どちらが上とか下とかではなく、幹事をお願いしている各地の青年部長の皆様と私は同じ青年部組織の代表でありますので、同じ目線で共に頑張つてまいります。また、青年部組織がまだない地域でも、若手で頑張つていらっしゃる方が一人でもいれば、特別会員(個人会員)として、日資連青年部の活動に参加して頂くことが出来ま

す。こうして、北海道から沖縄まで青年部、青年部世代のネットワークを拡げていきたいと考えておりますので、お気軽にお声がけ頂ければ幸いです。そして、本年は、日資連青年部創立30周年の記

念すべき年でもあります。初代小松部長様以来、諸先輩方が脈々と受け継いでこられたこの青年部を今後さらに飛躍させていくために、11月ごろを目途に創立30周年記念事業も予定しております。日資連役員並びに歴代部長、各地の青年部、ご来賓の皆様をお招きして盛大に開催したいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

結びになりますが、古紙持ち去り問題、不当な高値入札、回収システム・取扱品目の多様化など、業界を取り巻く状況は未だ混沌としております。このような中、時代の変化に対応し、進化し続ける青年部を目指し頑張つてまいりますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

創立30周年の節目に

青年部長 紺野 琢生



念すべき年でもあります。初代小松部長様以来、諸先輩方が脈々と受け継いでこられたこの青年部を今後さらに飛躍させていくために、11月ごろを目途に創立30周年記念事業も予定しております。日資連役員並びに歴代部長、各地の青年部、ご来賓の皆様をお招きして盛大に開催したいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

結びになりますが、古紙持ち去り問題、不当な高値入札、回収システム・取扱品目の多様化など、業界を取り巻く状況は未だ混沌としております。このような中、時代の変化に対応し、進化し続ける青年部を目指し頑張つてまいりますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

念すべき年でもあります。初代小松部長様以来、諸先輩方が脈々と受け継いでこられたこの青年部を今後さらに飛躍させていくために、11月ごろを目途に創立30周年記念事業も予定しております。日資連役員並びに歴代部長、各地の青年部、ご来賓の皆様をお招きして盛大に開催したいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

結びになりますが、古紙持ち去り問題、不当な高値入札、回収システム・取扱品目の多様化など、業界を取り巻く状況は未だ混沌としております。このような中、時代の変化に対応し、進化し続ける青年部を目指し頑張つてまいりますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

念すべき年でもあります。初代小松部長様以来、諸先輩方が脈々と受け継いでこられたこの青年部を今後さらに飛躍させていくために、11月ごろを目途に創立30周年記念事業も予定しております。日資連役員並びに歴代部長、各地の青年部、ご来賓の皆様をお招きして盛大に開催したいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

長野県資源回収事業協同講演会より リ化証認知度向上へ ニーズ捉えたシステム運用が必要か

去る5月23日に長野県資源回収事業協同組合の通常総会で、長野県リテイを求めの傾向もありません。県上小地方事務所環境課長・中村君生氏を講師に記念講演が行われ、行政の立場からリサイクル化証明書を評価いただいた貴重な講演でしたので、講演内容を抜粋してご紹介します。

◆ ◆ ◆
専ら物については廃掃法施行当時から特例として明記されており、古紙・くす鉄・あきびん・古繊維の4品目については産廃の許可が不要、マニフェストも不要とされています。しかし、専ら物に関して最終処分または有価物化されたものにそれぞれ排出事業者による報告が伝えられるという仕組みです。ですから、これに似た様式で排出したものも適用されます。委託契約書には法令記載事項(種類・数量・有効期間・料金・許可内容・適正処理状況・処理完了報告・未処理廃棄物の取扱い・処分場所・処分方法)があり、産業廃棄物の場合はマニフェストでこれらの担保を、マニフェストを適正に管理することによって、排出事業者も収集運搬・中間処理業者も自動的に委託契約書の内容が履行される仕組みになっています。

◆ ◆ ◆
そこで問題となるのはマニフェストを必要としない専ら物については有価で売却し、法定記載事項である処理完了報告をどのように担保するかという点です。法定記載事項ではないものの、マニフェストは不要なために安易に考えている企業もあれば、強烈的にコンプライアンスの意識がある企業、特にISO14001などに取組む企業では、全

◆ ◆ ◆
その後ますます増えにくく考えています。現実にもこうしたニーズがあるというところを、皆様にもご理解いただきたいと思います。

リサイクル化証明書 (Form with fields for name, address, phone, and checkboxes for various waste types like paper, metal, etc.)

青年部 被災地の復興願い 桜の植樹ボランティアに参加

平成25年度青年部ボラ
ンティア事業として寄付
を20万円し、有志で桜の
苗木植樹ボランティアに
参加しました。当日は、
集合場所に早く着いたの
で植樹を少し視察しま
した。人影はあまりなく
我々を迎え入れてくれた
のは野生のイノシシ達で
した。町の至る所で震災
の日から時間が止まっ
ているように使われなくな
った線路内の雑草が伸びき
ていることや庭先の木、
雑草が何の手入れもなく

伸びきっていることなど、
人のいない町の寂しさを
冷たい冬の風が切なく我々
に語り掛けてくれたよう
でした。その後、開会式
が始まり代表の西本氏の
挨拶、関係者の紹介、植
樹についての説明があり
参加者全員で大型バスに
乗り込み、植樹場所へ移
動しました。今回の参加
者は20名程度で地元の方々
や商工会議所の方などが
参加しており、ス
コップと軍手、シャベル
を用意し、国道6号線沿

線の指定された場所に桜
の苗木を二人一組で、苗
木一組2〜3本を植樹し
ました。(全体で約50本
の苗木を植樹)開会式の
話で植樹する時には「30
年後に桜並木が満開にな
った時にみんなが笑顔にな
れるようにと願って植樹
して下さい。」と言われ
ていたので、一人一人が
色々な思いと30年後の笑
顔を思い植樹しました。
きっと私達青年部の思い
は30年後に届くことでは
う！参加者全員が、この
場所でもあります。現在

青年部が総会を開催

新会長に紺野琢生氏(東京)を選出

日資連青年部の通常総
会が5月17日に横浜中華
街の状況楼において全国
の青年部員19名が参加し
開催された。本総会にお
いて2期4年青年部長を
務めた群馬の武井大輔氏
から東京の紺野琢生氏に
交代した。退任に当たり、
武井大輔氏から、厳しく
そしてやさしくご指導を
頂いた諸先輩方と未熟な
青年部長を支えていただ
いた青年部の皆様にお礼
を申し上げます。
新青年部長には、先輩た
ちが築いてきたネットワ
ークと信頼関係の維持と更
なる飛躍と活躍できる青
年部作りを期待する旨の

挨拶があった。
これを受けて新青年部
長に就任した紺野琢生氏
から、「ゆるやかでゆる
ぎない仲間との結束」を
基本方針として持続可能
な資源循環型社会は、私
達回収業者がこの社会の
先陣をきり、何よりも私
達の業が持続可能で、次
世代に受け継がれること
であり、青年部の更なる結
束と元気をもって業界を
けん引していきたい。と
の挨拶があった。来賓に
は、神奈川県資源回収商
業協同組合理事長藤田和
秀様、同専務理事守屋司
様、株式会社資源新報社
太田原充様のご臨席を頂



きご祝辞を頂戴した。
また7月19日に岐阜市

小名浜地区の状況は、互
隣の集められていた場所
はきれいに処分が終了し
ていましたが町の至る所
は、まだ住宅の基礎が残
っている状態でした。ここ
の地区には、今回参加し
てくれた横須賀の志賀さ
んのお爺さんの家があり、
お爺さんを津波で亡くさ
れました。青年部7名で
現地に行き線香とお花を
あげて手を合わせ、ご冥

福を祈りました。海側の
護岸整備はやっとしまっ
たようでテトラポットや
防波堤の高さ延長などが
行われていました。しか
し、いまだ福島県沖の太
平洋でとれる魚介類はあ
まり流通してはいないよ
うで本道の復興までは、
まだまだ道のりは長そう
です。けれどもきっと桜
が満開の時には人が少し
ずつ戻ってくるはずで

いつになるかはわかりま
せんが・・・私たちに
できることは、この震災
や津波の被害、そして原
発被害を忘れずに後世に
しっかりと事実を伝えて
いく必要があると思
います。
きっとみんな笑顔になっ
て満開の桜を見られる日
が来ると信じて・・・



△30年後の笑顔を思い
植樹
加者一同

編集後記

「あーす・れっく」60
号の最終編集会議は8月
初めに招集されました。
専務理事の片岡さん、前
広報委員長の森岡さん、
青年部長の紺野さん、神
奈川から佐藤和夫さんと
魚地浩司さんに参加いた
だきました。
佐藤さんは平成12年発
行の21号まで広報委員長
として「あーす・れっく」

発行責任者を務めていま
す。魚地さんは神奈川県
資源協の広報委員長です。
強力なメンバーに集まっ
ていただき、心強い限り
でした。
編集会議の後、佐藤さ
んと森岡さんの昔話を興
味深く聞かせていただき
ました。また、「あーす・
れっく」命名には片岡さ
んが関わっていたそうで

す。
今回の60号は、森岡前
委員長と事務局が準備し
資源新報の高橋さんが仕
上げを担当しました。
そして、広報委員会
は委員募集中です。カメ
ラマン、記者、編集者を
必要としています。現在
会員各県に委員推薦のお
願いをしています。ぜひ、
手を挙げて広報委員にな
ってください。
(守屋)

栃木県リサイクル協同組合連合会
会長 星本昭次
〒320-0816 栃木県宇都宮市天神 2-7-18
TEL 028(634)5930・FAX 028(666)8513

群馬県再生資源事業協同組合連合会
会長 上岡克己
〒371-0857 群馬県前橋市高井町 1-26-3
TEL 0272(53)7291・FAX 0272(54)6221

埼玉県再生資源事業協同組合
理事長 福田寛榮
〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 2-156-1
エクセルハイム103
TEL 048(607)7401・FAX 048(607)7402

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会
会長 飯田俊夫
〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2-22-6
富士ビル 5階A号室
TEL 043(227)8273・FAX 043(227)2033

東京都資源回収事業協同組合
理事長 吉浦高志
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-21-1
TEL 03(3263)3676・FAX 03(3263)3679

神奈川県資源回収商業協同組合
理事長 藤田和秀
〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-40-17
モンテベルデ 横浜 3 1 1 号室
TEL 045(313)6100・FAX 045(313)6161

奈良県資源回収事業協同組合
理事長 森田元嗣
〒635-0095 奈良県大和高田市大中 106-2
経済会館 6階
TEL 0745(23)2266・FAX 0745(23)2285

新宿区リサイクル事業協同組合
理事長 佐藤一郎
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-12-12
株式会社小池商店本社内
TEL 03(5363)3196・FAX 03(5363)3197

日本再生資源事業協同組合連合会
広告掲載のお願い！
本紙への掲載広告を募集しています。
詳しくは事務局にお尋ねください。